



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月7日

上場会社名 国際計測器株式会社 上場取引所 東
コード番号 7722 URL <https://www.kokusaikk.co.jp>
代表者（役職名）代表取締役社長（氏名） 松本 進一
問合せ先責任者（役職名）取締役管理本部長（氏名） 松本 博司（TEL）042-371-4211
半期報告書提出予定日 2025年11月12日 配当支払開始予定日 2025年12月1日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家、アナリスト向け）
(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	6,946	22.5	992	314.4	1,086	613.5	667	—
2025年3月期中間期	5,669	38.0	239	—	152	—	25	—

(注) 包括利益 2026年3月期中間期 704百万円 (449.0%) 2025年3月期中間期 128百万円 (—%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	49.49	—
2025年3月期中間期	1.85	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	20,646	12,000	56.2
2025年3月期	20,840	11,601	53.8

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 11,608百万円 2025年3月期 11,224百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	10.00	—	20.00	30.00
2026年3月期	—	10.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	25.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	14,000	6.0	1,500	23.9	1,500	6.2	950	1.0
								70.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(中間期)

2026年3月期中間期	14,200,000株	2025年3月期	14,200,000株
2026年3月期中間期	725,834株	2025年3月期	662,634株
2026年3月期中間期	13,490,743株	2025年3月期中間期	13,687,213株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 当社は、以下のとおり説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。

・2025年12月2日(火)……機関投資家・アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間連結会計期間の経営成績の概況	2
(2) 当中間連結会計期間の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11
3. 補足情報	13
生産、受注及び販売の状況	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間連結会計期間の経営成績の概況

当中間連結会計期間における当社グループを取り巻く経営環境は、半導体不足による影響が緩和されつつあるものの、部品納期の長期化や資源高の影響を受けており、ウクライナや中東情勢の緊張が長期化し、依然として先行きの不透明な状況が続いております。

また、日本経済は、部品納期の長期化や資源高の影響を受けているものの、景気は緩やかながら回復の傾向を見せており、電気自動車を中心として企業の設備投資は再検討されております。なお、当社グループが主力取引先としている中国及び東南アジアの自動車及びタイヤ業界の設備投資については、当中間連結会計期間において堅調に推移しており、当社の主力顧客である日系企業や中国企業の欧州や東南アジア等への海外進出が続いております。

国内自動車関連メーカーの設備投資につきましては、電動化の推進やカーボンニュートラルなどの世界的潮流への対応に注力するなか、電気自動車等の環境や省エネに配慮した自動車部品に対する製造・研究開発分野への投資が続いております。

このような経営環境のなかで当社グループは、生産ライン用の試験装置であるバランシングマシンとともに、研究開発用でありイニシャルコストとランニングコストの低減が見込める電気サーボモータ式試験機の営業活動を、国内及びアジアを中心に積極的に展開しております。この結果、中国をはじめとするアジアのタイヤメーカー向けの生産ライン用タイヤ関連試験機の受注や、国内部品メーカー向けの電気サーボモータ式試験機等の受注を獲得いたしました。

これらの結果、当中間連結会計期間の経営成績につきましては、売上高69億4千6百万円（前中間連結会計期間比22.5%増）、営業利益9億9千2百万円（前中間連結会計期間比314.4%増）、経常利益10億8千6百万円（前中間連結会計期間比613.5%増）、親会社株主に帰属する中間純利益6億6千7百万円（前中間連結会計期間は2千5百万円の利益）となりました。

売上高につきましては、部品等の供給不足に伴う製品製造期間の長期化や、客先との納期調整は継続しているものの、アジアのタイヤメーカーを中心としたバランシングマシンの売上検収が増加したことにより前中間連結会計期間と比較して増加しております。利益面につきましては、前中間連結会計期間と比較してバランシングマシンの売上伸長により利益が増加しております。

セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

〔日本（国際計測器株式会社）〕

海外向けバランスिंगマシンの出荷・検収が増加したため、全体として出荷・検収は増加いたしました。

その結果、売上高は増加し、経常利益は前中間連結会計期間と比較して増加いたしました。

売上高	59億7千1百万円（前中間連結会計期間比24.8%増）
経常利益	11億4千5百万円（前中間連結会計期間比230.8%増）

〔日本（東伸工業株式会社）〕

電力業界からのクリープ試験装置や腐食環境試験装置などの受注が増加し、材料試験機の出荷・検収が増加いたしました。

その結果、売上高は増加し、経常利益となりました。

売上高	3億1千2百万円（前中間連結会計期間比200.5%増）
経常利益	6千3百万円（前中間連結会計期間は3千4百万円の損失）

〔米国〕

外資系タイヤメーカーへのバランスिंगマシンの出荷・検収が増加いたしました。

その結果、売上高は増加したものの、売上原価が増加したため、経常損失となりました。

売上高	2億9千6百万円（前中間連結会計期間比9.7%増）
経常損失	1億8千6百万円（前中間連結会計期間は1億7千6百万円の損失）

〔韓国〕

韓国大手自動車関連メーカーへのバランスिंगマシン及びシャフト歪自動矯正機の出荷・検収が減少いたしました。

その結果、売上高は減少したものの、売上原価が減少したため、経常利益は前中間連結会計期間と比較して増加いたしました。

売上高	10億3千3百万円（前中間連結会計期間比2.4%減）
経常利益	2億2百万円（前中間連結会計期間比5.6%増）

〔中国〕

中国国内のタイヤメーカーへのバランスिंगマシンの出荷・検収が増加いたしました。

その結果、売上高は増加したものの、売上原価が増加したため、経常損失となりました。

売上高	3億2千4百万円（前中間連結会計期間比55.6%増）
経常損失	5千8百万円（前中間連結会計期間は2百万円の利益）

（２）当中間連結会計期間の財政状態の概況

（資産の部）

当社グループの当中間連結会計期間末の資産合計は、206億4千6百万円（前連結会計年度末比1億9千4百万円減）となりました。これは、第3四半期以降に出荷予定の仕掛案件の進捗により仕掛品が増加（前連結会計年度末比5億8千3百万円増）したものの、売上債権の回収などにより受取手形及び売掛金が減少（前連結会計年度末比6億7千7百万円減）したことや、商品及び製品が減少（前連結会計年度末比2億5千2百万円減）したことが主たる要因であります。

（負債の部）

当社グループの当中間連結会計期間末の負債合計は、86億4千6百万円（前連結会計年度末比5億9千2百万円減）となりました。これは、約定返済により長期借入金が減少（前連結会計年度末比3億2千9百万円減）したことや、仕入が減少したことにより支払手形及び買掛金が減少（前連結会計年度末比1億6千万円減）したこと及び検収が進んだことにより前受金が減少（前連結会計年度末比8百万円減）したことが主たる要因であります。

（純資産の部）

当社グループの当中間連結会計期間末の純資産合計は、120億円（前連結会計年度末比3億9千8百万円増）となりました。これは、親会社株主に帰属する中間純利益を計上したことなどにより利益剰余金が増加（前連結会計年度末比3億9千7百万円増）したことが主たる要因であります。

（キャッシュ・フローの状況）

当中間連結会計期間のキャッシュ・フローについては、営業活動により11億6千6百万円増加し、投資活動により2億9千6百万円減少し、財務活動により8億2千5百万円減少した結果、現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べ2千8百万円減少し、50億6千4百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当中間連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、11億6千6百万円の収入（前中間連結会計期間比5億6千3百万円の収入減少）となりました。これは、仕掛案件の進捗により棚卸資産が3億2千7百万円増加したことや、仕入債務が1億5千7百万円減少したものの、税金等調整前中間純利益を10億8千6百万円計上したことや利息及び配当金の受取額が5千9百万円あったこと並びに受取手形及び売掛金の回収が進み、売上債権が6億6千9百万円減少したことなどによるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当中間連結会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、2億9千6百万円の支出（前中間連結会計期間比5千万円の支出減少）となりました。これは、定期預金の満期が到来したことにより定期預金の払戻による収入が8億2千4百万円あったものの、資金運用のために定期預金の預入による支出が10億7千9百万円あったことなどによるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当中間連結会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、8億2千5百万円の支出（前中間連結会計期間比3億6千3百万円の支出増加）となりました。これは、短期借入金が1億9千万円減少したことや長期借入金の返済による3億2千9百万円の支出があったこと及び配当金を2億7千万円支払ったことなどによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、第3四半期以降の業績については計画通りに推移すると見込まれており、2025年11月5日に公表いたしました2026年3月期の連結業績予想に変更はありません。

今後、業績予想において修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,899,193	8,174,523
受取手形及び売掛金	3,185,325	2,508,318
商品及び製品	641,776	389,225
仕掛品	2,898,365	3,482,167
原材料及び貯蔵品	749,279	732,384
その他	499,442	345,908
貸倒引当金	△8,810	△9,721
流動資産合計	15,864,572	15,622,806
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,167,115	3,185,932
機械装置及び運搬具	255,093	259,522
土地	1,305,791	1,307,569
リース資産	3,036	3,036
その他	465,218	441,122
減価償却累計額	△2,324,052	△2,379,673
有形固定資産合計	2,872,202	2,817,508
無形固定資産		
その他	72,213	70,952
無形固定資産合計	72,213	70,952
投資その他の資産		
投資有価証券	712,386	755,574
繰延税金資産	28,146	40,858
保険積立金	1,176,673	1,179,448
その他	547,122	685,526
貸倒引当金	△432,335	△525,933
投資その他の資産合計	2,031,994	2,135,475
固定資産合計	4,976,409	5,023,935
資産合計	20,840,981	20,646,742

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,514,572	1,354,202
短期借入金	970,000	780,000
1年内返済予定の長期借入金	659,776	659,776
未払法人税等	365,572	442,547
賞与引当金	145,058	176,721
製品保証引当金	101,609	109,413
前受金	2,673,161	2,664,608
その他	453,930	422,226
流動負債合計	6,883,680	6,609,496
固定負債		
長期借入金	1,780,258	1,450,370
繰延税金負債	130,977	130,137
役員退職慰労引当金	192,536	196,776
退職給付に係る負債	178,847	206,419
資産除去債務	18,850	19,003
その他	54,183	34,195
固定負債合計	2,355,652	2,036,903
負債合計	9,239,333	8,646,399
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,023,100	1,023,100
資本剰余金	936,400	936,400
利益剰余金	8,829,787	9,226,828
自己株式	△426,601	△461,677
株主資本合計	10,362,686	10,724,651
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	151,316	178,613
為替換算調整勘定	710,266	705,480
その他の包括利益累計額合計	861,583	884,093
非支配株主持分	377,378	391,598
純資産合計	11,601,648	12,000,342
負債純資産合計	20,840,981	20,646,742

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月30日)
売上高	5,669,146	6,946,394
売上原価	3,681,547	4,119,627
売上総利益	1,987,599	2,826,766
販売費及び一般管理費		
製品保証引当金繰入額	52,700	38,868
貸倒引当金繰入額	12,483	94,307
役員報酬	153,140	152,700
給料手当及び賞与	484,272	531,129
賞与引当金繰入額	46,171	59,127
退職給付費用	24,913	17,845
役員退職慰労引当金繰入額	4,240	4,240
運賃	228,802	195,820
減価償却費	18,269	20,150
研究開発費	13,211	26,971
支払手数料	184,466	136,940
その他	525,516	556,656
販売費及び一般管理費合計	1,748,188	1,834,757
営業利益	239,410	992,008
営業外収益		
受取利息及び配当金	103,229	72,122
為替差益	-	33,812
その他	7,348	5,579
営業外収益合計	110,577	111,514
営業外費用		
支払利息	12,644	11,195
支払手数料	1,928	1,730
売上債権売却損	1,252	1,672
為替差損	175,730	-
保険解約損	124	-
その他	6,076	2,727
営業外費用合計	197,756	17,325
経常利益	152,231	1,086,197
税金等調整前中間純利益	152,231	1,086,197
法人税、住民税及び事業税	97,719	412,331
法人税等調整額	6,624	△25,907
法人税等合計	104,344	386,424
中間純利益	47,887	699,772
非支配株主に帰属する中間純利益	22,545	31,984
親会社株主に帰属する中間純利益	25,341	667,788

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	47,887	699,772
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23,136	27,296
為替換算調整勘定	103,571	△22,551
その他の包括利益合計	80,435	4,745
中間包括利益	128,322	704,517
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	89,393	690,298
非支配株主に係る中間包括利益	38,928	14,219

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	152,231	1,086,197
減価償却費	74,761	83,778
貸倒引当金の増減額(△は減少)	12,483	94,307
賞与引当金の増減額(△は減少)	28,813	31,483
製品保証引当金の増減額(△は減少)	4,614	8,513
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2,225	27,342
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4,240	4,240
受取利息及び受取配当金	△103,229	△72,122
支払利息	12,644	11,195
為替差損益(△は益)	123,707	△7,564
売上債権の増減額(△は増加)	1,284,108	669,415
棚卸資産の増減額(△は増加)	△807,692	△327,318
仕入債務の増減額(△は減少)	315,222	△157,492
前受金の増減額(△は減少)	579,028	12,927
その他	6,766	25,781
小計	1,689,926	1,490,684
利息及び配当金の受取額	101,663	59,966
利息の支払額	△13,792	△10,806
法人税等の支払額	△93,439	△372,980
法人税等の還付額	46,537	50
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,730,896	1,166,914
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,522,142	△1,079,791
定期預金の払戻による収入	1,210,396	824,800
有形固定資産の取得による支出	△18,677	△36,802
保険積立金の積立による支出	△8,980	△9,000
保険積立金の解約による収入	14,854	6,347
その他	△22,834	△2,275
投資活動によるキャッシュ・フロー	△347,383	△296,722
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	20,000	△190,000
長期借入金の返済による支出	△245,090	△329,888
自己株式の取得による支出	△99,354	△35,076
配当金の支払額	△137,968	△270,684
財務活動によるキャッシュ・フロー	△462,412	△825,648
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,342	△72,922
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	929,441	△28,378
現金及び現金同等物の期首残高	5,234,285	5,093,059
現金及び現金同等物の中間期末残高	6,163,727	5,064,680

（4）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2025年5月15日開催の取締役会決議に基づき、自己株式63,200株の取得を行っております。この結果、当中間連結会計期間において、自己株式が35,076千円増加し、当中間連結会計期間末において自己株式が461,677千円となっております。

（追加情報）

前連結会計年度の有価証券報告書の（追加情報）に記載した仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本		米国	韓国	中国	計		
	国際計測器株式会社	東伸工業株式会社						
売上高								
バランスिंगマシン	3, 216, 025	—	132, 552	407, 713	29, 761	3, 786, 053	33, 132	3, 819, 185
電気サーボモータ式試験機	690, 863	—	—	116, 312	—	807, 175	1, 057	808, 233
材料試験機	—	91, 476	—	—	—	91, 476	—	91, 476
シャフト歪自動矯正機	110, 060	—	—	124, 571	15, 015	249, 647	24, 322	273, 970
その他	472, 123	—	124, 260	44, 867	20, 932	662, 183	14, 097	676, 281
顧客との契約から生じる収益	4, 489, 073	91, 476	256, 813	693, 464	65, 710	5, 596, 537	72, 609	5, 669, 146
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	4, 489, 073	91, 476	256, 813	693, 464	65, 710	5, 596, 537	72, 609	5, 669, 146
セグメント間の内部売上高又は振替高	293, 867	12, 600	13, 917	364, 770	143, 096	828, 251	140, 141	968, 393
計	4, 782, 940	104, 076	270, 730	1, 058, 234	208, 807	6, 424, 788	212, 751	6, 637, 540
セグメント利益又は損失 (△)	346, 138	△34, 901	△176, 231	192, 202	2, 719	329, 929	59, 161	389, 090

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東南アジア及びヨーロッパ等の現地法人を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	329,929
「その他」の区分の利益	59,161
セグメント間取引消去等(注)	△236,858
中間連結損益計算書の経常利益	152,231

(注) セグメント間取引消去等には、セグメント間の受取配当金が175,519千円含まれております。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本		米国	韓国	中国	計		
	国際計測器 株式会社	東伸工業 株式会社						
売上高								
balancing マシ	4,014,124	—	219,315	396,558	66,740	4,696,740	7,514	4,704,254
電気サーボモ ータ式試験機	980,630	—	7,098	93,628	4,795	1,086,152	12,138	1,098,291
材料試験機	—	300,119	—	—	—	300,119	—	300,119
シャフト歪自動 矯正機	63,026	—	18,649	68,674	—	150,349	23,231	173,581
その他	431,972	—	44,466	32,872	83,195	592,506	77,640	670,147
顧客との契約か ら生じる収益	5,489,753	300,119	289,529	591,734	154,731	6,825,869	120,525	6,946,394
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	5,489,753	300,119	289,529	591,734	154,731	6,825,869	120,525	6,946,394
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	481,336	12,600	7,430	441,292	170,208	1,112,868	116,903	1,229,772
計	5,971,090	312,719	296,960	1,033,026	324,940	7,938,737	237,428	8,176,166
セグメント利益 又は損失 (△)	1,145,019	63,236	△186,424	202,962	△58,020	1,166,773	92,341	1,259,115

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東南アジア及びヨーロッパ等の現地法人を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,166,773
「その他」の区分の利益	92,341
セグメント間取引消去等(注)	△172,917
中間連結損益計算書の経常利益	1,086,197

(注) セグメント間取引消去等には、セグメント間の受取配当金が180,806千円含まれております。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

区 分	生産高(千円)	前中間連結会計期間比(%)	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	4,624,255	+21.1	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式試験機	1,098,291	+35.9	日本(国際), 韓国
シャフト歪自動矯正機	157,581	△42.5	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	300,119	+228.1	日本(東伸)
その他	766,146	+13.3	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	6,946,392	+22.5	—

(注1) 金額は、販売価格によっております。

(注2) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

(2) 受注状況

①受注高

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

区 分	受注高(千円)	前中間連結会計期間比(%)	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	3,894,569	△24.3	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式試験機	995,745	△10.5	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
シャフト歪自動矯正機	395,131	+89.3	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	541,186	+101.4	日本(東伸)
その他	648,802	△16.2	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	6,475,436	△13.7	—

(注1) 金額は、受注価格によっております。

(注2) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

②受注残高

当中間連結会計期間末(2025年9月30日)

区 分	受注残高(千円)	前中間連結会計期間比(%)	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	9,157,560	△16.6	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式試験機	2,600,018	△1.7	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
シャフト歪自動矯正機	500,878	+13.8	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	613,526	+174.3	日本(東伸)
その他	47,835	△51.1	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	12,919,817	△10.2	—

(注1) 金額は、受注価格によっております。

(注2) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

(3) 販売実績

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

区 分	売上高(千円)	前中間連結会計期間比(%)	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	4,704,254	+23.2	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式試験機	1,098,291	+35.9	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
シャフト歪自動矯正機	173,581	△36.6	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	300,119	+228.1	日本(東伸)
その他	670,147	△0.9	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	6,946,394	+22.5	—

(注1) 金額は、販売価格によっております。

(注2) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。